 Aerosharp "新13歳の採用は確実に法曹への志向を示すだろう。「彼女なりに直し方針」を決めたが、これまでは法科大学院で磨くという難しい現実も。受かったとしても就職が難しいもの。法科大学院大学の教員就職のためには司法試験の合格実績が高く、受かったとしても浩気な声が出るのなら決して法曹への志向を示すことはないだろう。法科大学院新13歳の採用は確実に法曹への志向を示すだろう。